

北海道地域活動推進功労賞(敬称略)

【個人】

おく なり しょう ぞう
奥 成 正 三 (86歳・函館市)

函館市町会連合会 監事

函館市入舟町 会長

氏は、昭和62年に入船町会の監事に選任後、昭和64年には副会長に選任され、積極的な町会活動やその指導力が評価され、平成2年4月には会長に選任されました。

会長選任後、近隣町会に先駆けて「在宅福祉ふれあいの声かけ運動」を始めたほか、定期的に「ふれあいレクリエーション」を実施するなど会員の親睦にも力を注ぎ、その行動力・指導力が評価されるとともに人望が厚く、平成12年に函館市町会連合会理事、平成14年に常任理事に就任しました。

また、氏は平成18年まで間、同連合会総務部副部長・街灯部長を歴任し、町会連合会の運営や防犯灯の普及促進などに尽力するなど、強いリーダーシップを発揮し函館市町会連合会の充実・発展に貢献した氏の功績は多大であります。

のり しげ ぶん ゆう
教 重 文 雄 (77歳・美深町)

美深町自治会連合会 会長

氏は、自治会、自治会連合会、社会福祉協議会などで会長等の要職を歴任しています。常に会の先頭に立ち、地域住民の声を背景に様々な行事を実施するなど、町内会・自治会の自主的な発展を促しながら、住民の融和と緊密なる連絡協調のもとに、明るいまちづくりに大きく貢献してきました。

また、氏は社会福祉活動にも積極的に取り組み、地域課題の情報発信や研究、町内会・自治会単位の研修会の実施に携わり、地域の福祉活動の発展に大きく貢献するなど、住民から評価が高く、美深町の住民活動と社会福祉活動の充実・発展に寄与した功績は多大であります。

まつ い たけ し
松 井 武 志 (82歳・鶴居村)

幌呂連合会 顧問

幌呂老人クラブ 顧問

氏は、昭和58年から平成15年までの間「幌呂連合会」会長に就任し、地域活動のリーダーとして積極的に活動に携わりました。

幌呂市街地から中幌呂下地区までの区間に桜の植栽を行うなどの地域の環境美化運動をはじめ、幌呂地域の住民の念願であった「幌呂農村環境改善センター(平成4年完成)」の建設に大きな役割を果たすなど、村のまちづくりに積極的に取り組んできました。

このほか、平成11年から平成19年の間、幌呂老人クラブ会長として地域老人会の育成、指導者の育成に活躍するとともに、関係団体との連絡調整や地域の高齢者福祉の向上に寄与するなど、住民からの厚い信頼を受け地域活動の発展に貢献した功績は多大であります。

【団体】

にし か ぐら がわ じょう
西神楽さと川パークゴルフ場

うんえい かん り い いん かい
運営管理委員会 (旭川市)

代表者 那 須 康 二

同会は地域住民の健康増進や交流の場として平成11年に美瑛川河川敷にパークゴルフ場の造成の気運が高まり、地域住民による検討組織が発足しました。以来、「地域の地域による地域のためのパークゴルフ場づくり」を合言葉に、「グラウンドワーク」方式を採用し、住民が中心となって、行政、企業などの協力を得ながら、パークゴルフ場の整備に取り組み、平成18年に全36ホールを完成させました。

以後、毎年、近郊以外からも多くの人々が来場し、地域住民の健康増進や交流の場として大きな役割を果たしております。

また、同会は国道237号のゴミ拾いや草刈、コース脇に人工河川「せせらぎの川」(ビオトープ)を作りホタル幼虫の放流、地元農産物の即売会による地産地消の普及、地元小学生の環境学習の実施支援など、環境美化運動や子供の健全育成にも積極的に取り組んでおり、地域の発展と活性化に寄与する活動は高く評価されています。

とく てい ひ えい り かつ どう ほう じん
特定非営利活動法人

むららん
ビオトープ・イタンキ in 室蘭 (室蘭市)

代表者 大 西 勲

同法人は、平成10年頃に有志による活動を開始以来、イタンキに湿原を復元することを目標に活動を展開してきました。

イタンキに湿原を復元するため、小さな「先行実験池」を作り、湿地性動植物の繁殖・保存の実験と海岸のビオトープとしての適性の調査、ビオトープ予定地に植樹を行うなど、ビオトープの環境を整え、平成18年4月に造成工事に着工し、平成21年春の工事で計画の50%まで完成しました。

この間、水域の広がりが増すにつれ、導入した動植物のほか希少なトンボなどの多様な生き物が住みつくようになり、近年では観察することができなかった「カワセミ」が飛来するまでにイタンキの自然が回復するなど同法人の環境保全に寄与した功績は多大であります。

また、小学生の子ども達を中心とした自然観察や自然体験学習の場として、学校教育に活用される機会も増えるなど、同法人は子供の健全育成に大きく貢献しており、今後の活躍が大いに期待されます。